

# 内部情報システム再構築 情報提供依頼書

令和7年12月

おおいた内部情報システム共同調達団体  
(構成団体: 佐伯市、豊後大野市、由布市、竹田市、津久見市)

## 内部情報システム再構築に係る情報提供依頼（RFI）実施要領

### 1 本依頼書の趣旨

おおいた内部情報システム共同調達団体（構成団体：佐伯市、豊後大野市、由布市、竹田市、津久見市）（以下「本団体」という。）では、現行システムの保守サービス停止期限が令和11年7月31日までとなっており、次期内部情報システムへの移行を検討しています。

次期システムへの移行においては、「安全性・効率性・持続可能性を備えた共同利用型システムの実現」を基本方針とし、5団体による共同調達・共同利用を通じて調達・運用コストの削減と業務の効率化を図ります。また、電子決裁・ペーパーレス化の推進により職員の事務負担を軽減するとともに、システムの安定稼働と継続的な機能改善を通じて、持続可能な行政運営と住民サービスの向上を目指します。

今回実施する情報提供依頼（RFI）については、最新のパッケージ製品の機能性、使用性、保守性、費用等に関する情報を収集し、システム再構築に係る具体的な仕様の検討や経費算出の参考とするものです。

以上の趣旨及び第3項に示す再構築方針を踏まえ、本団体にとって最も費用対効果の高い再構築の手法をご提案願います。

### 2 情報提供を求めるシステムの範囲

#### （1）システムの範囲

新たに導入する内部情報システムの範囲は、現在利用している以下のシステムの範囲とする。なお、内部情報システムについては、オールインワンパッケージによる構成に限らず、別パッケージシステム同士の連携により必要な機能を満たす構成とする提案も可能とします。

システム	概要
①財務会計	予算編成、予算執行管理、決算処理、支払処理及び債権管理等の一連の財務会計業務を統合的に管理し、財務諸表作成の自動化や他システムとの連携強化により、迅速かつ正確な財政運営を支援するシステムとする。
②人事給与	職員の入事情報管理、給与計算及び年末調整をはじめ、人事評価や研修管理などの人事業務を一元的に管理し、各種手当計算の自動化により、人事・給与事務の効率化と正確性向上を図るシステムとする。
③文書管理	公文書等の作成・決裁・登録・保管・検索・回覧・廃棄までのライフサイクルを一元的に管理し、文書分類や保存期間の設定

	等を通じて、文書管理の適正化及び業務の効率化を図るシステムとする。
④勤怠管理	職員の出退勤状況の記録、休暇等の申請・承認、時間外勤務の管理及び勤務実績の集計を行い、勤務状況の見える化と勤怠管理事務の効率化を図るシステムとする。
⑤グループウェア	庁内のスケジュール共有、掲示板、メール等の情報共有機能に加え、申請・決裁ワークフローによる電子決裁機能を備え、ペーパーレス化と業務の見える化、庁内コミュニケーションの円滑化を推進するシステムとする。

## (2) 現行システム情報

### ア 稼働状況

現行システムは、各構成団体において平成16年から順次稼働を開始しており、いずれの団体においても長期間の運用が続いている。

### イ システム環境

項目	内容
①ネットワーク接続	LGWAN接続環境
②通信回線	豊の国ハイパーネットワーク
③クラウド基盤	豊の国IaaS（大分データセンター）
④採用システム	株式会社オーイーシー「eGモデル」

### ウ 保守期限

現行システムの保守期限は、令和11年7月31日までとなっています。

## 3 再構築方針

内部情報システムの再構築は、次の方針に基づいて実施することとします。

### (1) カスタマイズの極小化

次期内部情報システム移行後の運用効率化と制度改正対応等の改修費用を抑制するため、パッケージシステムの利用を前提とし、カスタマイズは極力行わないこととする。

### (2) 共同調達・共同利用の推進

共同調達による調達コストの削減及び共同利用による運用コスト削減を図る。

### (3) クラウド型システムの採用

オンプレミス型ではなく、クラウド型のシステム構成とし、サーバ等のハードウェアを本団体で保有しない方式とする。

### (4) クラウド環境の選定

クラウド環境は、現行システムで実績のある大分データセンター内の「豊の国IaaS」を基本としつつ、これと同等以上のセキュリティが確保された他のクラウド基盤についても幅広く提案を求める。

(5) LGWAN接続系からの利用

導入団体のLGWAN接続系から利用できるシステム構成とすること。

(6) ネットワーク接続方式

クラウド環境への接続は、現行で利用している豊の国ハイパーネットワーク及びLGWAN-ASP接続のほか、これらと同等以上のセキュリティが確保された閉域網による提案も可能とする。なお、LGWAN-ASP接続を利用する場合は、LGWAN-ASPホスティングサービスの要件を満たすこと。

(7) インターネット接続の禁止

インターネット接続系からの直接接続は認めない。

(8) 移行期限

次期内部情報システムへの移行は、令和8年度から令和9年度にかけて段階的に行うものとし、各団体・各システムの移行時期については別紙「対象業務システム一覧」とおりとする。

(9) 電子決裁機能

文書管理システム及び財務会計システムにおいて、システム標準機能として電子決裁機能を有すること、または電子決裁システムとの連携が可能なこと。

#### 4 スケジュール（予定）

令和7年12月 情報提供依頼（RFI）実施

令和8年1月～2月 プロポーザル（RFP）実施

令和8年3月 事業者決定

令和8年4月～令和10年3月31日 システム構築・移行期間

令和8年10月 システム本稼働開始（一部団体・システムから順次稼働）

令和10年3月 全団体・全システム稼働完了（予定）

※各団体・各システムの詳細な移行時期については、別紙「対象業務システム一覧」を参照してください。

#### 5 情報提供依頼事項

情報提供いただきたい事項を以下に示しますので、記載順に回答をお願いします。

(1) はじめに

内部情報システムの再構築に関する基本的な考え方、取組み方法

(2) パッケージ製品の概要

ア システム全体の概要図

イ パッケージ製品の機能（再構築方針を満たすための機能及び貴社システムの特徴的な機能の概要）

ウ パッケージ製品から標準で出力可能な主要帳票の例

エ パッケージ製品が対応するOS

オ パッケージ製品のサポート期間

(3) パッケージ製品の導入実績

導入実績のある自治体の人口規模、ユーザー数、端末台数等

(4) 構築に係る体制及び各人員の役割

本団体（5団体）を対象としたシステム構築において想定される、貴社側の体制及び各人員の役割並びに本団体に求める体制及び各人員の役割

(5) 構築スケジュール

第4項に記載している本稼働開始予定期を前提とした、標準的な構築スケジュールの概要

(6) 稼働環境

ア パッケージ製品の本稼働及び開発にあたり必要な環境（仮想サーバの台数、各仮想サーバ及びクライアントに要求されるCPU（コア数）、メモリ、ストレージ容量等）

イ 必要なソフトウェアライセンス（OS、ミドルウェア等を含む。）

(7) 運用・保守

ア 技術的な問題及び疑問への対応方針、監視・サポート体制

イ 運用開始時（システム切替時）のサポート体制

ウ 年次処理及び重要処理へのサポート方針

エ 制度改正、バージョンアップ、機能改善等の主な保守対応について、無償/有償の範囲及び対応方針を記載すること。

(8) ヘルプデスク

ヘルプデスクについて、設置方法、対応範囲、SEとの連携体制等

(9) 見積

システム再構築経費や利用経費、保守・運用に係る経費等の概算見積を提出してください。なお、見積にあたっては以下の点にご留意ください。

ア 見積内容

以下の経費について、5団体合計及び各団体別の概算金額を提示すること。

①初期構築経費（システム構築費、データ移行費、導入支援費等）

②運用保守経費（年額）（保守費、運用費、クラウド利用料等）

③5年間総額（①+②×5年）

※各団体別の金額を算出する際の按分方法（按分基準）も併せてご提示ください。按分基準は、職員数、想定ユーザー数、均等割等を参考にご提案ください。

#### イ 共同調達の効果

共同調達・共同利用によるコスト削減効果がある場合は、その内容と削減率（%）又は削減額を記載すること。

#### ウ 他自治体における共同調達・共同利用の実績

貴社が提案するシステムにおける他自治体の共同調達・共同利用の実績があれば、その事例（団体名、規模、削減効果等）を提示すること。

#### エ その他

- ①各団体の移行時期の違いによる経費への影響がある場合は、その旨を記載すること。
- ②単年度契約と複数年契約で経費が異なる場合はその旨記載すること。
- ③運用期間は60カ月（5年間）として経費を計上すること。

### （10）機能要件一覧表

パッケージ製品の機能要件を網羅した一覧表

## 6 情報提供要領

次の要領により情報をご提供ください。

#### （1）様式

ア 様式は任意としますが、第5項「情報提供依頼事項」の記載順に記述をお願いします。

イ A4版またはA3版を基本として作成していただき、ファイルはMicrosoft Office形式（Word、Excel、PowerPoint）又はPDF形式とします。

#### （2）情報提供期限

令和8年1月9日（金）午後5時まで

#### （3）提出方法

ア 情報提供資料を第8項「連絡先」に電子メールにて提出してください。受領後、こちらから受領した旨をメールで返信します。

※メール本文及び添付ファイルの合計容量が10MBを超える場合、本団体から別途提出方法を案内しますので、メールにてその旨をご連絡ください。

イ 後日、当方から問い合わせをする場合がありますので、必ず連絡先（会社名、部署名、担当者氏名、電話番号、メールアドレス）をご記入ください。

#### （4）質疑応答

ア 当情報提供依頼に関する質問の受付及び回答は、電子メールで行います。

- イ 様式等は問いません。
- ウ 第8項「連絡先」に記載のメールアドレス宛へお送りください。
- エ ご質問の際は、メール件名の冒頭に【内部情報システム・RFI質問】と記入してお送りください。
- オ 質問受付期間：令和7年12月18日（木）午後5時まで
- カ 回答予定日：令和7年12月22日（月）まで随時回答します。提出いただきました質問へのご回答は、質問者名を伏せて全RFI参加事業者の方へメールにより通知いたします。

## 7 提出に関する留意事項

- (1) 本情報提供依頼に対する資料の提出主体は、単体企業のほか、共同企業体（JV）とすることも差し支えありません。共同企業体として提出する場合は、参加する全ての構成企業をあらかじめ明示し、代表企業が取りまとめの上、資料を提出してください。
- (2) 本情報提供依頼は、対象業務システム（財務会計システム、文書管理システム、人事給与システム、勤怠管理システム、グループウェア）の全てに対応可能な事業者を対象としています。一部システムのみの情報提供は受け付けません。
- (3) 提出いただいた資料は、返却しません。また、提出いただいた資料は、本団体が仕様書案等を検討するにあたって、本団体内部での情報共有の手段として複写又は供覧することを前提としますが、本団体と守秘義務契約を締結する外部のコンサルタント等に当該資料を貸与することがあります。
- (4) 情報提供に要する費用は、貴社の負担となります。
- (5) 今回の情報提供依頼は、貴社を含め幅広い事業者による入札参加が可能となるよう検討を行うのですが、本団体が将来的に貴社のシステムを導入することや、貴社に特別の地位を確保することを約束するものではありません。
- (6) 今回の資料の提出は、貴社に対して将来の入札に応じる義務を負わせるものではありません。また、貴社は、将来の入札時において、今回の回答内容に拘束される必要はありません。
- (7) 製品紹介のデモンストレーションを依頼することができます。

## 8 連絡先

〒876-8585 大分県佐伯市中村南町1番1号  
おおいた内部情報システム共同調達団体 事務局  
佐伯市 総務部 情報推進課 情報化推進係  
電話番号：0972-22-4543  
E-mail : suisin@city.saiki.lg.jp

(別紙) 対象業務システム一覧

(1)各団体の基本情報

No.	団体名	人口 (令和7年11月末現在)	職員数（正職員）	会計年度任用職員数	想定ユーザー数
1	佐伯市	63,211	866	461	1,327
2	豊後大野市	31,274	488	185	673
3	由布市	33,515	418	192	610
4	竹田市	18,468	332	254	586
5	津久見市	14,608	228	158	386

※想定ユーザー数は、正職員と会計年度任用職員の合算人数を記載したものであり、提案者への参考情報として提示するものです。

実際の運用時には、各システムの用途や機能に応じて利用者数が変動することを想定しております。

(2)各団体の対象業務システムと移行時期

No.	団体名	財務会計システム	人事給与システム	文書管理システム	勤怠管理システム	グループウェア
1	佐伯市	令和8年度	令和8年度	令和8年度	令和8年度	－
2	豊後大野市	令和8年度	令和8年度	令和8年度	－	－
3	由布市	令和9年度	令和9年度	令和9年度	令和9年度	令和8年度
4	竹田市	令和8年度	令和8年度	令和8年度	令和8年度	－
5	津久見市	令和9年度	令和9年度	令和9年度	令和8年度	－